

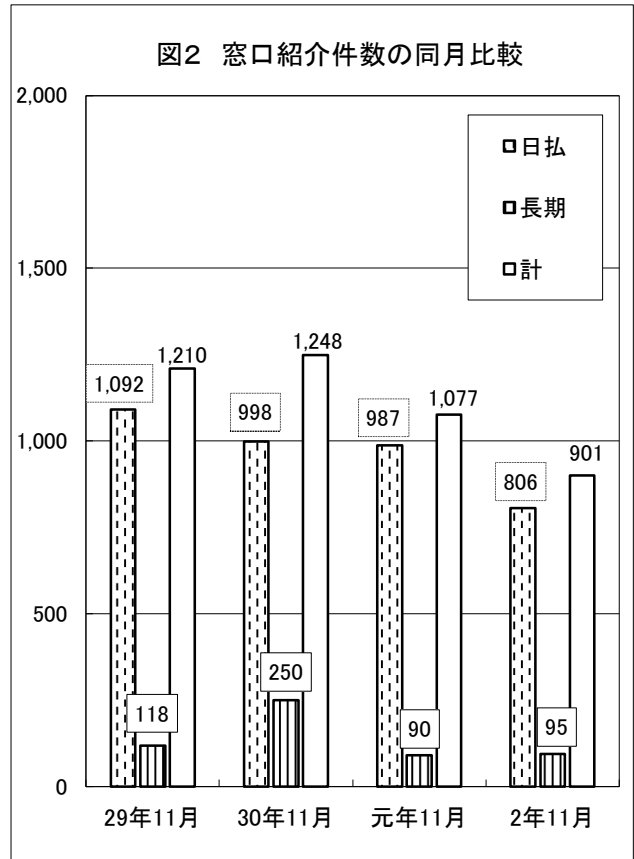
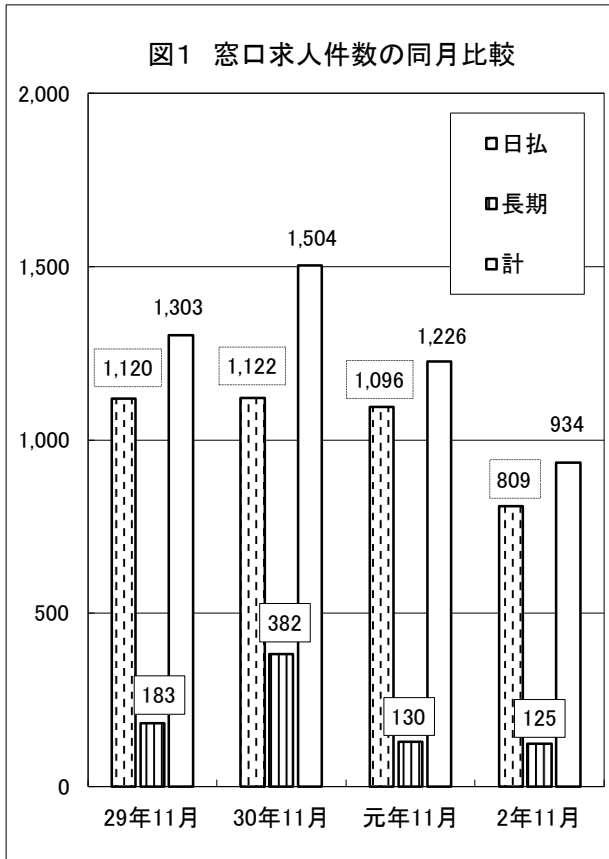
～職業紹介事業の実績(11月)～

(1) センター窓口における求人件数及び紹介件数の概要

職業紹介事業におけるセンター窓口からの求人件数及び紹介件数は、図1及び図2のとおりとなった。令和2年11月の窓口求人件数は934件（前年同月1,226件）、292件の減少（△23.8%）であった。

窓口紹介件数は901件（前年同月1,077件）、176件の減少（△16.3%）であった。

窓口紹介件数を雇用期間区分別にみると、日払は前年同月比で181件の減少（△18.3%）、長期は5件の増加（5.6%）であった。



窓口求人	29年11月	30年11月	元年11月	2年11月	前年比	増減率(%)
日払	1,120	1,122	1,096	809	△287	△26.2
長期	183	382	130	125	△5	△3.8
計	1,303	1,504	1,226	934	△292	△23.8

窓口紹介	29年11月	30年11月	元年11月	2年11月	前年比	増減率(%)
日払	1,092	998	987	806	△181	△18.3
長期	118	250	90	95	5	5.6
計	1,210	1,248	1,077	901	△176	△16.3

*「長期」は、求人・紹介ともに延べ数（人数×日数）である。

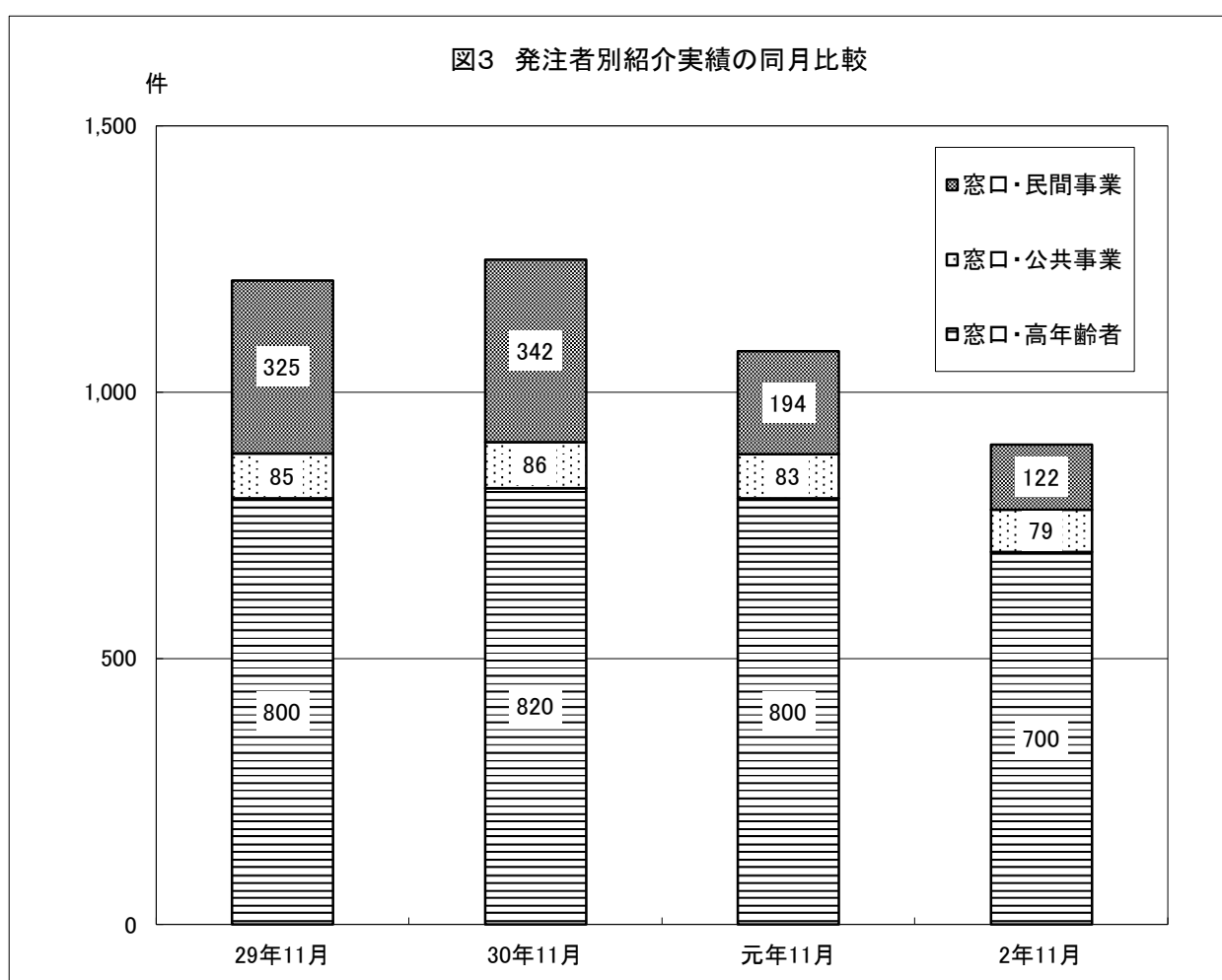
(2) 紹介区分別

センター窓口からの紹介実績は、紹介区分（仕事の内容（＝発注者）別）で以下のように分けられる。

- ①民間事業
- ②公共事業（特別就労対策事業以外で、都や区など公共団体が発注している清掃等の仕事）
- ③東京都の「高齢者特別就労対策事業」（＝輪番紹介）

図3より、センター窓口からの紹介実績をみると、

- ① 「民間事業」は72件の減少（前年同月比 $\Delta 37.1\%$ 、日払は78件の減少、長期は6件の増加）
 - ② 「公共事業」は4件の減少（前年同月比 $\Delta 4.8\%$ ）
 - ③ 「高齢者特別就労」は100件の減少（前年同月比 $\Delta 12.5\%$ ）
- 窓口計では、176件の減少（前年同月比 $\Delta 16.3\%$ ）となった。



	29年11月	30年11月	元年11月	2年11月	前年比	増減率(%)
窓口・民間事業	325	342	194	122	$\Delta 72$	$\Delta 37.1$
窓口・公共事業	85	86	83	79	$\Delta 4$	$\Delta 4.8$
窓口・高齢者	800	820	800	700	$\Delta 100$	$\Delta 12.5$
窓口計	1,210	1,248	1,077	901	$\Delta 176$	$\Delta 16.3$

(3) 紹介実員数

ここでは紹介の延べ件数ではなく、「『何人』に仕事を紹介したか」という観点から、紹介実績の動向をみる。図4のとおり令和2年11月の紹介実員数（＝窓口計）は811人であった。（前年同月990人）民間事業では、日払の紹介実員数は56人（前年同月134人）と長期は4人（前年同月2人）であった。また、窓口紹介実績の一日平均は、3.2人であった。

図4 紹介実員数の同月比較

		元年11月	2年11月	前年同月比増減数	増減率(%)
窓 口	民間事業	136	60	△76	△55.9
	公共事業	54	51	△3	△5.6
	高齢者特別就労	800	700	△100	△12.5
紹介実員数(合計)		990	811	△179	△18.1

～生活相談・応急援護事業の実績(11月)～

(1) 受付総数・相談件数（一日当たり受付数・相談数）

令和2年11月の相談受付件数（＝相談数(計)）は図5のとおり158件で、元年11月に比べ23件の増加（1.5件/1日平均）となり、8か月連続のプラスとなった。
新規来所件数は10件であった。

図5 受付・相談の月総数及び一日平均の前年同月比較

	月総数				一日平均		
	元年11月	2年11月	増減数	増減率(%)	元年11月	2年11月	増減数
受付	125	154	29	23.2	6.3	8.1	1.8
新規	3	10	7	233.3	0.2	0.5	0.3
医療相談	1	2	1	100.0	0.1	0.1	0.0
生活保護等	2	3	1	50.0	0.1	0.2	0.1
労働相談	6	18	12	200.0	0.3	0.9	0.6
応急援護	63	64	1	1.6	3.2	3.4	0.2
その他相談	63	71	8	12.7	3.2	3.7	0.5
相談数(計)	135	158	23	17.0	6.8	8.3	1.5

* 来所者が1回の受付で複数の相談を行う場合があるため、受付件数と相談件数は一致しない。

* 開所日数は、令和2年11月は19日間、令和元年11月は20日間であった。

(2) 応急援護の内訳

図6-1及び図6-2のとおり、宿泊相談は月合計で前年同月比5件の増加(26.3%)、給食相談は5件の増加(27.8%)、物品相談は7件の減少(△29.2%)、交通費相談は2件の減少(△100.0%)となった。
 なお、11月の開所日数は、本年度は19日間、元年度、29年度は20日間、30年度は21日間であった。

図6-1 応急援護数(内訳)の同月比較

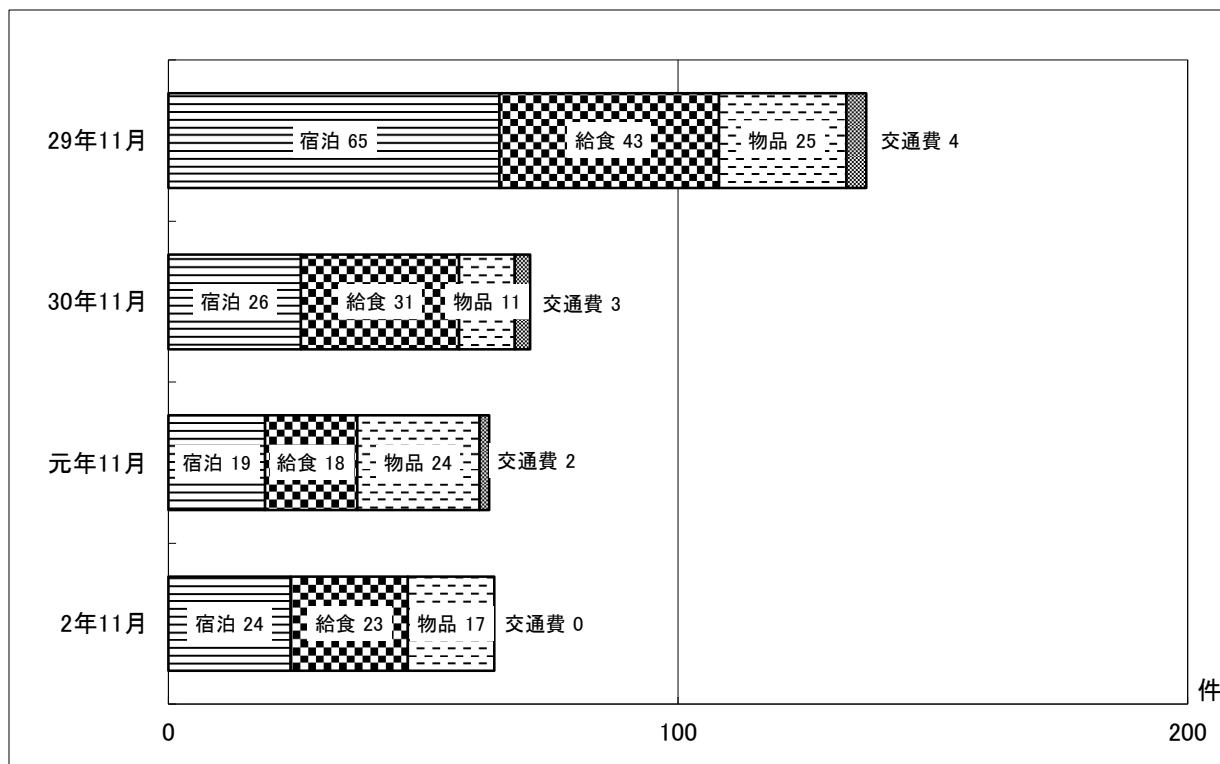


図6-2 応急援護数一日平均(内訳)の同月比較

